

平成20年度
第3回社会人学び直し評価会議議事概要
(IT技術を中心とした社会人再チャレンジ)

日時 平成20年11月13日(木) 15:00~17:00
場所 管理棟2階 会議室
出席者 別紙のとおり
会議資料

- ・社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム第3回評価会議資料
- ・前回頂戴した意見に基づく改善等事項
- ・「SolidWorks 講座」募集チラシ

その他資料

- ・「ご近所の底力 研究者紹介」パンフレット
- ・「あなたのためのパワープロジェクト」パンフレット
- ・テクノフォーラム案内

議事に先立って校長から、平成20年度実施の事業内容は初歩的・技能中心で高専の特色を十分活かすまでには至っていないが、今後特色を出していきたいので忌憚りの無いご意見を頂きたいという挨拶があった。

議 事

福永委員から、社会人の学び直し事業の全体概要について説明があった。

- ニート・フリーターも含め、就職を探している人たちのために行う事業である。
- 定年退職した後パソコンの勉強をしたいという場合は本事業の対象にならない。
- 基本的なパソコン操作やCADを習得することで就職に再チャレンジすることを支援する。

・平成20年度事業計画

工藤委員から、資料に基づき平成20年度の事業計画について説明があった。

事業の実施体制

本事業の全体会議である委員会とともに、第一実行委員会、第二実行委員会を組織している。

- 第一実行委員会は調査・企画・立案など事業の円滑な遂行を促す。
- 第二実行委員会は講座を実施している。

具体的内容

- ニート・フリーターに関する調査及び企業調査とともに現在集計中である。
- 国内事例研究について、現在計画段階である。

阿南委員から、ニート・フリーターの調査についての質問があり、工藤委員からまだ集計ができていないので今回の会議では取り上げないとの回答があった。

・平成20年度事業の実施状況

工藤委員から、資料に基づき平成20年度事業の実施状況について、「Microsoft Word 講座」、「Microsoft Excel 講座」、及び「技術職員及び補助学生に対する AutoCAD 講習会」は実施済みだが、「AutoCAD2008 講座」、「Microsoft Excel 講座(学外実施分)」は現在実施途中である旨の説明があった。

また、それぞれの講座、講習会については講師を担当した委員や講習会に参加した委員等による報告が行われた。

1. 「Microsoft Word 講座」

工藤委員から説明

- 一般社会人に対して講座をする経験が無いことや、受講者のレベルに応じた講座を開催する必要性を考え、講座を実施する前にアンケートにより受講者の実態調査をした。その結果、受講者のレベルにばらつきが大きいことが分かり、講座は全くの初心者レベルからする必要がでた。
- 講座の特徴として、講座の実施だけでなく、キャリアカウンセラーを配置し、就職活動をバックアップする体制を取った。
- 当初は学生に教えるのとは違う困難さがあったが、講師が指導するうえでのアドバイスをキャリアカウンセラーに受けることで、講座を改善することができた。
- カウンセラーとの相談を積極的に利用している人もいた。

「Microsoft Word 講座」講師，高石委員から報告

- 受講後資格を取れるレベルになることを目標として実施した。
- 講座の時間配分が難しかった。
- 内容に対して講座の時間が不足した。
- 復習テストをするなどの工夫や、講座の後自由に使える時間設定が必要と感じた。

2. 「Microsoft Excel 講座」

工藤委員から説明

- 「Microsoft Word 講座」の反省を踏まえ講座の改善を行った
- キャリアカウンセリングを受講者が利用しやすくするために全員にカウンセリングを講座開始後早々に実施した。
- キャリアカウンセリングを充実させたことによって、受講者の出席率を改善する効果や、途中でやめてしまう事態を防ぐ効果があったようだ。
- 受講者の一名が正社員に採用されたことの報告があった。

「Microsoft Excel 講座」講師，衛藤委員から報告

- 「Microsoft Word 講座」受講者の事後アンケートを踏まえ前回講義の復習を取り入れた。
- 一般の人になじみが少ない内容には時間を割くよう心がけた。
- その時の話題に合ったオリジナルな資料を使うなど工夫した。
- 後半の進度が速くなったと感じペース配分を考慮する必要がある。
- じっくり取り組む時間を考えれば講座は3時間ぐらい必要と感じた。
- 受講者の声から Vista や Office2007 への対応も必要と感じた。

3. 技術職員及び補助学生に対する AutoCAD 講習会

岩本委員から報告

- AutoCAD2008 は、数年前の AutoCAD から大きく変わったので、指導にあたって学習し直した。
- 講習会では指導方法に対する内容も含まれていたことが役に立った。

4. 「AutoCAD2008 講座」

岩本委員から報告

- 出席率も良く、順調に進んでいる。
- 2次元CADの試験はペーパーテストなのでその対策も行っている。

5. (学外) 「Microsoft Excel 講座」

工藤委員から報告

- ニート・フリーターなど、本校に来る事自体にプレッシャーを感じる人の事を考慮して学外で講座を実施することにした。
- 出席率も良く、順調に進んでいる。

・事業へのご意見等について

【募集等について】

柴北委員から、講座の受講者は女性が多く、主婦が多かったようだが比率はどうかとの質問があった。

(回答)

応募の際主婦かどうか明確に尋ねたわけではないが、子育て後の再就職を目指す人からの応募であることが応募動機から伺えた。

柴北委員から、受講者はキャリアアップが目的か、新たに求職が目的かとの質問があった。

(回答)

定職についていない人が応募条件であり、正規社員は募集していない。

阿南委員から、「AutoCAD2008 講座」の15名の受講者の年齢分布はどうかとの質問があった。

(回答)

10代 男性1名、20代 男性2名・女性4名、30代 男性1名・女性5名、40代 女性2名
(20代の男性1名は就職が決まったため受講前に辞退した。)

青木委員から65名の応募者の中から15名に絞っているが受講できなかった50名には再度受講するチャンスは無いのかという質問があった。

(回答)

不採用者には通知とともに他にも講座を開く予定があることのお知らせをしている。
夏休み中の公開講座等で同じ様な内容の講座があることを知らせた。

足立委員から「AutoCAD2008 講座」を受講したような人材は中小企業にとって必要な人材であるが、女性の場合20才前後の者の採用を考えている。講座の年齢構成として、いかがなものかという意見を頂いた。

下郡委員から、サポステの相談者には人とのコミュニケーションはできないが、パソコンのスキルを身につけて就職に結び付けたいという人が多い。また、講座などなんとなくやりたいという人はあまり見られず、真剣な人が多いが、このような人に対して企業がどう見ているかという問題点があるという意見を頂いた。

田川委員から、最近年長のフリーターが定職につかないことが問題となっており、スキルアップの支援が正規採用につながるか大分県として注視していきたいという意見を頂いた。

(回答)

中小企業主催の就職相談会などで、技術がある人は応募してこない場合が多く社内で教えなければなくなる面があるが、このような側面で支援につながると思っている。

柴北委員から昔はトレーサーがいたが、CADが普及しトレーサーがいなくなった。今は単純に作図ができるだけではだめ。構造計算などを含めた設計ができないといけないという意見を頂いた。

青木委員から、応募動機から受講者を選ぶことができたのかとの質問があった。また、「手書きで製図していたがCADは使えない。」というような人が受講者としてふさわしいのではないかと意見を頂いた。

(回答)

就職に対する切実さが応募動機に出ている人を選んだ。
一概に手書き経験者がふさわしいとも言えないと考えている。

【講座について】

石坂委員から、受講者スキルがばらばらである点をどうするのかという質問があった。

(回答)

講座開始時間より30分前と終了後30分を質問等に対応する時間として設定して対応している。
補助者が受講者のモニタを見て進み具合を確認しながら進めている。
教科書に付いているCDを利用して家庭学習ができる様に講座期間中は教科書を貸し出している。

田川委員から、職業訓練と同時にカウンセラーを配置して就職活動にスムーズに挑戦していけるように態勢を整えていて良い取り組みだと思ふという意見を頂いた。

下郡委員から、能力認定試験のレベルをパソコン検定3級が取得できるようなレベルにまで設定して欲しいとの意見を頂いた。また、Microsoft Office Specialist 試験など、一般的な試験を高専で行うのかとの質問があった。

(回答)

一般的な試験を高専で実施することは考えていない。公的な試験とリンクすることは大事なことではあるが、現在のところは行っていない。

石坂委員から、企業ではパソコンのOSがVistaよりまだXPのほうが多く使用されているのでその辺りの調査をして講座に活用してはどうかという意見を頂いた。

阿南委員から、大分市産業活性化プラザセミナールームを講座会場として活用していることについて評価を頂いた。また、VistaよりXPのほうが有用であろうとの意見を頂いた。

【事業全体について】

下郡委員から、若者サポステではもっと多くの相談者に大分高専の講座を紹介したいが、毎週あると聞くと敬遠するような相談者が多いので紹介できない。講座にきちんと出席できる人は就職できる人だ。また、スキルは非常に高くても心の面で強くないために離職するケースが多いとの現状説明があった。

川邊委員から、講座で無遅刻無欠席表彰などもあれば良いのではないかと意見を頂いた。

足立委員から、求職している人に中小企業がどんな技術・人材を求めているのか知って欲しいとの意見を頂いた。

田川委員から、働く側にはカウンセリングをしたりする必要があり、企業の問題もあるので啓発する必要もある。両面から考える必要があるとの意見を頂いた。

以上